

1. 科目名（単位 数）	日本語学Ⅰ（音声・音韻）（2単位）		3. 科目番号	
2. 授業担当教員	今井 新悟			
4. 授業形態	講義と演習		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	学習者の発音を指導するためには、日本語の音声についての知識が必要である。本講座では、日本語の音声についての一般的な概要を行い、日本語の音声がどのように産出されているのかについて学ぶ。また、演習では実際に発音し、日本語教育におけるモデルとなる音声について理解する。			
8. 学習目標	1) 日本語の音声の仕組みを理解する。 2) 日本語学習者の母語について、苦手とする音を知る。 3) 日本語の音声をコントロールし、産出できるようになる。 4) 日本語学習者の発音上の問題点を理論的に指摘できる。 5) 日本語学習者の発音を矯正できる。			
9. アサイメント （宿題）及びレポ ート課題	・事前学習で、教科書の指定箇所を読む。さらに指定のビデオがある場合は視聴する。 ・教科書と配布プリントを読む。 ・事後学習で、クイズに答える。全問正答するまで繰り返す。 ・レポート課題1：pp. 37-38「考えよう」から1つ選んでその回答を書く。 ・レポート課題2：自分の母語（日本人の場合は外国語）の影響と考えられる日本語の発音の間違いの例を挙げて、その矯正方法を提案する。			
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】今井新悟『いちばんやさしい日本語教育入門』アスク出版, 2018. 【参考書】池田悠子『日本語教師をめざす人のためのスモールステップで学ぶ音声』スリーエーネットワーク, 2024. 【教材】プリント（ダウンロードまたは配布）			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 日本語の音声の仕組みを理解し、説明できるか。 2. 日本語学習者の発音をどう矯正したらよいか説明できるか。 ○評定の方法 授業への出席や日常の受講態度、課題・発表、期末試験等を総合して評価する。 1 授業への出席・態度 総合点の30％ 2 課題・発表 総合点の30％ 3 期末試験 総合点の40％ なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位修得を認めない。			
12. 受講生への メッセージ	日本語の「音」について、客観的に考察します。発音はできても、それをどうやって発音しているのかを自分で認識することは難しいです。それを理解できるようになりましょう。そして、学習者の発音の誤りを治してあげられるようになりましょう。			
13. オフィスアワー	第1回の授業で説明します。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容		学習課題	
第1回	オリエンテーション 1. 音と音声	事前学習	pp.8-9を読む。動画「インコの昔話」を見て、このインコがどうやって話しているかを考える。	
		事後学習	プリントで復習する。	
第2回	2. 音声器官	事前学習	pp.10-16を読む。	
		事後学習	プリントで復習する。	
第3回	3. 日本語の音声	事前学習	pp.16-20を読んで、発音してみる。	
		事後学習	P17の発音記号を見て発音できるようになる。	
第4回	母音、子音の復習	事前学習	母音と子音の調音点・調音法を整理する。	
		事後学習	母音と子音の調音点・調音法を覚える。	
第5回	日本語教育能力検定試験に挑戦	事前学習	母音と子音の調音点・調音法を復習する。	
		事後学習	試験問題をクリアするまで繰り返す。	
第6回	4. 日本語のリズム	事前学習	pp.20-21を読む	
		事後学習	拍を正しく言えるための練習問題を作り、正しく言えるようになるまで練習する。	
第7回	5. アクセント	事前学習	pp.22-32を読む。	
		事後学習	教科書（pp22-32）にある語を正しいアクセントで発音できるようになる。	
第8回	6. イントネーション	事前学習	pp.32-35を読む。	
		事後学習	OJADが使えるようになる。	
第9回	発音、アクセント、イントネーション重視のスピーチの練習	事前学習	スピーチの原稿を書く。	
		事後学習	OJADで確認しながら、発音、アクセント、イントネーションに気を付けてスピーチの練習をする。	
第10回	確認問題と「考えよう」	事前学習	pp.36-38を読んで考える。	
		事後学習	レポート1を書く。	
第11回	学習者の間違い	事前学習	自分の母語（あるいは外国語）話者に特徴的な間違いについて考える。	
		事後学習	母語（外国語）固有の間違いと、母語に関係	

			なく現れる間違いについて考える。
第 1 2 回	発音指導 1	事前学習	自分の苦手な発音（拍、アクセントも含む）を考える。
		事後学習	どうやったら治せるか、考える。
第 1 3 回	発音指導 2	事前学習	どうやったら治せるか、考える。
		事後学習	レポート 2 を書く。
第 1 4 回	レポート 2 の発表	事前学習	レポート 2 の発表の準備（発音、アクセント、イントネーションの練習）
		事後学習	フィードバックを反映して、レポートを書き直す。
第 1 5 回	テスト前の復習・質疑応答	事前学習	教科書を復習する。
		事後学習	プリントで復習する。
期末試験			